

事業報告書

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な活動の内容

主要な取り扱い事業種目等

事業種目	主な事業品目等
医療事業	病院（臨床研修指定病院 一般 医療療養病床） 診療所（医科・歯科） 訪問看護 健康診査
福祉事業	介護医療院 訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 通所リハビリテーション 通所介護 短期入所療養介護 居宅療養管理指導 福祉タクシー 居宅介護支援 介護タクシー 住宅型有料老人ホーム・高齢者有料賃貸住宅 サービス付き高齢者向け住宅 受託事業（松江市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業）
医療福祉等附帯事業	院内売店 患者用駐車場

(2) 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

★松江保健生協の2022年度決算の概要

松江保健生協の2022年度の経営は、コロナ禍3年目のなか経常剰余金は2億3,321万円となり、予算1億3,875万円に対して9,446万円超過達成することができました。

事業収益は79億1,710万円で予算91.8%、7億1,047万円の未達成。事業費用は83億6,921万円で予算98.1%、1億6,443万円減となり、収益が大きく予算を下回りました。

事業剰余金は△4億5,210万円となりましたが、補助金収入が6億6,003万円（うち新型コロナ関連補助金6億4,427万円）あり、経常剰余金で2億3,321万円となりました。税引き後の当期剰余金で1億7,821万円、当期末処分剰余金は1億1,734万円となり、17年ぶりに累積剰余が黒字となりました。

2022年度は新型コロナ感染拡大が第6波から第8波まで続き、感染者数も過去最高を記録し、事業所ではクラスターが発生しました。このような中でも生協病院では発熱外来や陽性患者の入院受け入れ、介護医療院虹では陽性患者の入所継続、ふれあい診療所、生協東出雲診療所でのワクチン接種実施など地域要求や行政の要請に応えることで補助金を獲得することが出来ました。

一方で、入院部門では入院制限による稼働減少、手術、検査延期等により前年比95.5%、2億700万円減収、法人全体の外来部門は前年比83.8%、3億691万円減収、介護通所部門で前年比92.6%、2,646万円減収など大きく減収となりました。

事業所グループ別では、松江生協病院グループが経常剰余予算達成、学園福祉センターは黒字決算となりましたが、介護医療院虹グループ、東出雲診療所グループ、歯科クリニック、幸町福祉センターの4事業所グループは赤字決算となりました。

生協病院グループは、入院（計画▲32床、空床確保含めると▲10床）、外来（生協・ふれあい計画▲37人）、健診計画▲2人で計画を下回り、事業収益は予算比91.3%、前年比91.6%となりました。事

業費用は予算内（97.3%）で推移し、新型コロナ補助金を含め2億9,358万円の黒字となりました。

虹グループは、訪問系事業（計画+1.7人）、居宅支援事業（月計画+3人）で計画達成となりましたが、入所（計画▲5人）、通所系事業（計画▲10.5人）で計画未達成となり、事業収益は予算比98.6%、前年比101.9%となりました。費用は予算超過（102.8%）となり、▲1,927万円の赤字決算となりました。

学園福祉センターグループは、事業収益予算比94.1%、前年比95.8%と減収、費用は予算比96.9%となり、経常剰余では予算比16.1%の69万円の黒字決算となりました。

歯科クリニックは、事業収益予算比78.3%、前年比98.8%となり▲1,001万円の赤字、東出雲診療所グループは、事業収益予算比79.3%、前年比88.7%となり▲2,945万円の赤字、幸町福祉センターは、事業収益予算比65.2%、前年比81.9%となり、▲1,814万円の赤字決算となるなど、学園福祉センターを除く小規模事業所での患者、利用者減、収益減少により、1,000万円を超える大きな赤字決算となりました。

【各事業所グループの経営概況】

	事業収益	予算比	前年比	経常剰余
生協病院グループ	63億5,849万円	91.3%	91.6%	2億9,358万円
介護医療院虹グループ	11億9,167万円	98.6%	101.9%	▲1,927万円
東出雲診療所グループ	8,194万円	79.3%	88.7%	▲2,945万円
歯科クリニック	1億1,530万円	78.3%	98.8%	▲1,001万円
学園福祉センター	1億2,243万円	94.1%	95.8%	69万円
幸町福祉センター	4,903万円	65.2%	81.9%	▲1,814万円
合計	79億1,711万円	91.8%	93.1%	2億1,774万円

*各事業所の事業収益には、グループ間の取引を含んでいます。本部を除く

★事業収益79億1,710万円（予算比91.8%/前年比93.1%）、予算、前年を下回る

事業収益は、入院部門の空床確保とクラスター発生による入院制限、外来部門、介護通所部門の患者、利用減少による収益減少などにより、算比91.8%、予算▲7億1,047万円、前年比93.1%、▲5億8,790万円となりました。

医業事業収益は予算比91.3%、前年比91.8%、前年から▲5億6,168万円となりました。

入院医療収益は、予算比90.8%、前年比95.5%、前年から▲2億700万円となりました。

外来医療収益は予算比93.2%、前年比83.8%、前年から▲3億691万円。健診収益は予算比91.3%、前年比97.6%、前年から637万円の減収。ワクチン接種を中心に、その他の医療収益は前年から▲4,139万円となりました。

福祉事業収益は予算比93.6%、前年比98.5%。介護施設収益が唯一、予算（100.4%）、前年（101.4%）とも超過しました。また、訪問系では予算（97.4%）は下回ったものの、前年（100.6%）をわずかに上回りました。それ以外の部門では予算、前年とも収益が減少しています。特に通所系では前年から▲2,646万円、前年比92.6%と大きく減収しました。

★患者・利用者数 すべての部門で計画、前年を下回る。事業所別では生協外来、クリニック虹、生協ヘルパー、虹居宅支援事業所で計画超過達成。

新型コロナ感染拡大の影響が大きく、すべての部門、多くの事業所で計画を下回りました。

生協病院入院は、1日当たり病床稼働計画（332床）に対して▲32床。介護医療院虹は、稼働計画（175床）に対して▲5床となりました。

外来患者数は1日当たり患者計画に対して、生協病院外来は発熱外来増加により+4人、クリニック虹はコロナ陽性者の入所受け入れがあり+3.8人となりましたが、透析▲6人、ふれあい診療所▲35人、東出雲診療所▲1.8人、歯科クリニック▲8.8人、のぞみ訪問看護（医療）▲0.3人となりました。

居宅介護事業所利用者数は、事業所別で生協ヘルパー計画+2.1人、虹居宅支援が月計画+3件となりましたが、部門単位で見ると計画に対し、通所リハ▲3.8人、デイサービス▲7.1人、ヘルパー▲0.6人、訪問看護・リハ計画▲1.7人、ケアプラン作成数月▲25件とすべての部門で計画を下回りました。

【一日あたり患者・利用者数】

	入院（入所）	外来	通所	ヘルパー	訪問看護/リハ	健診	高齢者住宅
	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比
生協病院グループ	300/94%	392/98%	19/88%	28/101%	22/103%	50/98%	* *
虹グループ	170/97%	10/169%	55/93%	28/101%	12/124%	* *	48/91%
東出雲診グループ	* *	15/91%	15/96%	* *	* *	2/128%	* *
歯科クリニック	* *	53/98%	* *	* *	* *	2/120%	* *
学園福祉センター	* *	* *	22/92%	29/96%	* *	* *	* *
幸町福祉センター	* *	* *	15/84%	* *	* *	* *	* *
合計	470/96%	469/98%	125/92%	86/99%	34/110%	54/99%	48/91%

*訪問看護の医療保険利用者13人/日は外来に含む。ケアプランは月平均666件

1日患者・利用者数は各事業所の利用日に基づく。小数点以下は四捨五入

★事業費用 83億 6,921万円（予算比 98.1%/前年比 96.2%）

事業収益が予算比91.8%（前年比93.1%）に対して、事業費用は予算比98.1%（前年比96.3%）、予算から1億6,239万円減少となりましたが、収益減収に見合う減少には至りませんでした。

新型コロナ感染対策にともない、医療原価は、ワクチン接種費用、診療材料、衛生材料などの費用発生はありましたが、クラスター発生による入院、入所受け入れ制限、手術、検査の制限による費用減少が上回り、予算を下回りました。一方で光熱水費は前年から5千万円増額となり物件費で前年を1,567万円増加しました。その他では、委託費（予算比100.3%、前年比100.1%）、減価償却費（予算比100.7%、前年比107.4%）が予算、前年から増加、人件費（予算比97.1%、前年比98.1%）は減少となりました。人件費+医療福祉材料費+委託費の合計は、収益比91.5%となっています。

★コロナ禍でも「連携」「断らない」「情報発信」により地域の要求に応え経営改善がすすみました。

2022年度決算は、経常剰余金2億3,321万円、当期剰余金1億7,821万円の黒字決算となり、

3年連続で剰余目標を達成することが出来ました。

新型コロナ補助金 6億 4,427 万円（うち、空床確保等の収入補填 5億 8,600 万円、ワクチン接種を含む感染対策費用補填 3,608 万円、設備補助金 1,651 万円、その他 567 万円）については、事業外収益の補助金収入としました。

出資金は 2億 5 千万円目標に対し、1億 9,690 万円が寄せられました。減資が大きく純増額は 313 万円にとどまり、出資金総額は 16億 6,146 万円となりました。

次年度は、「法人・地域連携」「患者・利用者や紹介を断らない」「法人内外への情報発信」をすべての事業所で展開し、地域から求められる医療、介護事業をすすめ、中長期経営計画の達成を目指します。